

1 学年通信 むらさき集う

平成26年2月7日発行

発行責任者：結城克明



逃げる

「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」とよく言われますが、3学期も残すところ、あと1ヶ月半となりました。日々いろいろなことに追われて生活していると、自分の生活を振り返る余裕などなかなか持てませんが、やるべきことをしっかりと行い、充実した毎日を送りたいものです。

スプリングコンテスト



「漢字コンテスト」に引き続き、先週の金曜日に「スプリングコンテスト」が行われました。35名の生徒が満点でした。本日実施の「年表コンテスト」を持ちまして学習コンテストの前半が終了します。2週間後には定期テストがあります。計画に沿ってしっかりと学習し、成果を上げて欲しいと思います。

社会の現状を知る



今週火曜日に「働く人々に学ぶ会」を実施しました。2組から6組までの教室を使い、少ない人数で臨場感溢れる雰囲気の中で行いました。それぞれのお話は子どもたちにとって示唆に富んだ充実したものだったと思います。

「**決めたことをやり通す力**」、やる気になったら本気で取り組み、それを根気強く継続させあきらめない、「**あきらめが早い自分にさよならをする**」、これらを中学生の時から習慣づけることが大切であるとのアドバイスがすべての講話の中から出てきたのは驚きでした。

「**人は自分の知らない職業には就かない**」—できるだけたくさんの職業を知ること、それが自分の進路を考える上で重要だということです。

総務省統計局の職業分類によれば、世の中には28,000を超える仕事があるといわれています。「歌手になりたい」「芸能界に入りたい」などという希望は郡山に住んでいると、「何ておかしな夢なんだ」などと思われがちですが、東京や大阪などの大都市では案外あり得ることなのかなとも思えます。

実際わたしの教え子の中で「ミュージシャン」になりたいという大工さんの子どもがいましたが、けっこう学力が高い生徒

で生徒会役員をやっていたこともあり、何をふざけたことを考えているんだなどと思っていました。現実から目を背けて安易な方に流されてもったいないなと思っていました。文化祭のステージ発表と音楽家として生活していくこととは全然違うのだと進路指導で説得をはかったこともありました。いまになって考えれば、その生徒の夢をあきらめさせるのではなく応援すれば良かったかなとも思います。福島と東京では文化的な格差があるからなのではないでしょうか。福島では「現実的でない」、東京では「あり得る」というのはやはり、「**人の数だけ仕事がある**」、ということなのではないでしょうか。その教え子は、いまは東京に住み、スタジオ音楽家として活躍していると聞きます。

今回は「第1回働く人々に学ぶ会」を実施しましたが今後「**第2回働く人々〜**」や「**就業について考える会**」、「**留学生に学ぶ会**」など、社会の現状を知るための学習の機会を与え、進路選択の参考に、また自己の価値観や人生観の深化を図る活動を取り入れていきたいと思っています。

来週の予定

		入試関係
2 / 1 0 (月)	6校時：卒業式練習(学年)：多目的ホール ※部休日です	日大東北高校(一般)合格発表
1 1 (火)	建国記念日	
1 2 (水)	普通授業	
1 3 (木)	B案 6校時：「職業調べ」レポート作成第1回目 ※新入生保護者説明会のため清掃なし	
1 4 (金)	B案 6校時：「職業調べ」レポート作成第2回目 スクールカウンセラーが来校します (昼食4組)	帝京安積入試(一般)

リーダーの目

<p>1 組副委員長 あと少しで定期テストです。それぞれがんばっているようです。最近の1組は1分前着席ができなくなっているようです。そしてあまり集中していない人がいるようです。ちゃんと集中して欲しいです。 でも、授業中はおしゃべりをする人がほとんどいないのでこれからも継続して欲しいと思います。 まだ寒い日があるので、体調管理に気をつけて欲しいと思います。</p>	<p>2 組副委員長 最近の2組はとても楽しそうです。休み時間にはよく笑い声が聞こえます。 1年生も残り2ヶ月を切りました。クラス替えになるのでたくさんの思い出を作りたいと思います。 ところが楽しむことが休み時間だけでなく授業中にも話をするなどということがあります。落ち着いた授業の取り組みをしていきたいです。 2月18日、19日と定期テストもあるので、テスト勉強の取り組みもがんばっていききたいと思います。</p>
<p>3 組副委員長 ぼくは職業講話で瀬和建設と自衛隊の話を行いました。ここで学んだことは何事にも真剣にやるということ学びました。ぼくも勉強や頼まれたことは真剣にやろうと思います。ほかに学んだことはあいさつの大切さです。瀬和さんが言っていたように、どんな職業に就くにしろやはりあいさつができれば印象が良くなるということなので、ぼくも日頃から良いあいさつができるようにしたいと思います。</p>	

